



US Topics

December 17, 2009

PRICEWATERHOUSECOOPERS 

■ 目次

「四半期決算」—2009年第4四半期

現在のSECおよびPCAOBの動向に関する2009年度AICPA全国会議のハイライト

PwCが複数要素契約に関するガイダンスを更新

XBRL: 2010年のコンプライアンス展望および2009年に得られた教訓

FASBが11月のEITF会議における公開合意案を含む4つのASU案に対するコメントを募集

その他のFASB関連記事

SECがリスク、報酬およびコーポレート・ガバナンスに関する開示拡充を承認

SECが株主による取締役指名の簡易化案に関するコメント期間を再開

ASBが明瞭性プロジェクトに基づく2つ監査基準書案に対するコメントを募集

2010年1月の予定

■ 「四半期決算」—2009年第4四半期

「四半期決算 (*The Quarter Close*)」は、会計および財務報告上の最新の問題についての情報を提供するために、特に今後の四半期に最も関連性の高い事項に焦点をあてて作成されたシリーズです。2009年第4四半期版の「四半期決算」では、PwCはあなたが年度末決算を乗り切るための情報を提供しています。ハイライトには、重要な年度末レポート上の検討事項のリマインダーや、多数の会計ホット・トピックスに関するフレッシュな洞察が含まれています。FASBによる一部の投資ファンドのための新しい連結ガイダンスの適用延期措置案や、複数成果物を伴う契約に関する新しい収益認識ガイダンスの適用に関する洞察が主要な会計ホット・トピックスです。また、SECおよびPCAOBの動向に関する2009年度AICPA全国会議の主要テーマの概要を、より詳細なDataLine (後述)の簡易版として紹介しています。

▼ これらの他多数のトピックスを、CFODirect Networkに掲載された四半期決算シリーズの2009年第4四半期版でお読みください。

<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jp?ContentCode=AALN-7YHUZ2&SecNavCode=MSRA-7QREBE&ContentType=Content>

■ 現在のSECおよびPCAOBの動向に関する2009年度AICPA全国会議のハイライト

先週開催された現在のSECおよびPCAOBの動向に関する年次AICPA全国会議では、透明性が高く、理解可能で健全な財務情報の提供による、投資家のニーズ—投資家を第一に優先すること—に焦点が当てられました。もう1つの共通テーマは、単一の高品質なグローバル会計基準に向かってさらなるコンバージェンスを達成することの目的でした。

講演者達は、財務諸表作成者に対し、のれん、法人所得税、セグメントといったいくつかの主要領域における開示を再度見直すことを求めています。特定の状況における非GAAP情報およびその有用性についても議論されました。連結、収益認識、公正価値とバリュエーション、金融資産の譲渡、デリバティブとヘッジなどの技術的トピックもとりあげられました。

PwC DataLine 2009-55は、今年のAICPA会議で取り扱われた各トピックスをより詳細にとりあげることにより、『四半期

決算』を補完するものとなっています。

▼ CFOdirect Network のメンバーは、このDataLineの全文を以下のウェブサイトからお読みいただけます。

<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jp?ContentCode=AALN-7YU2PH&SecNavCode=TMCB-4L9HAT&ContentType=Content>

■ PwCが複数要素契約に関するガイダンスを更新

10月、FASBは複数成果物を伴う売上契約に関する新しいガイダンスを公表しました。このガイダンスでは、企業は、売手固有の、もしくは第三者による販売価格の証拠が入手不能である場合には、これらの成果物の販売価格の最善の見積りを使用することを求められています。また、契約対価を配分する残余法(residual method)は、今後は認められません。さらに、新しいガイダンスでは、有形製品の非ソフトウェア要素および有形製品の特定のソフトウェア要素は既存のソフトウェア収益認識ガイダンスの適用範囲から除外されました。これらの製品に関する収益は、他の有形製品の収益と同様の方法で認識されることとなります。拡充された開示規定を含むこの新ガイダンスは、2010年6月15日以降に開始する会計年度から適用となります。企業は、財務諸表が未公表である期中もしくは年度会計期間からの早期適用を行うことも認められています。

DataLine 2009-43において、PwCは新ガイダンスの当初分析および洞察を提供しました。新たに公表されたDataLine 2009-54では、DataLine 2009-43の議論を更新および拡充して、追加的な洞察と適用上の検討事項を盛り込んでいます。

▼ CFOdirect Network のメンバーは、このDataLineの全文を以下のウェブサイトからお読みいただけます。

<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jp?ContentCode=MSRA-7YMQED&SecNavCode=TMCB-4L9HAT&ContentType=Content>

■ XBRL: 2010年のコンプライアンス展望および2009年に得られた教訓

2009年にXBRL形式の財務情報の提出を開始した大規模公開企業は、2010年における2年目の提出について、財務諸表注記の詳細なタグ化を含む、より詳細な規定の適用対象となります。公開企業の段階的導入における次のグループ(すなわち2009年の初年度の段階的導入規定の対象とならなかった、残り的大規模早期提出企業)は1回目のXBRL形式財務情報の提出を2010年に行うことが求められています。

DataLine 2009-55において、PwCは、初回の提出の評価に関するSEC職員の所見と、そこから得られた教訓について説明しています。また、このDataLineは2年目の提出で求められる予定の財務諸表注記の詳細なタグ化に関する検討事項についても議論しています。

▼ CFOdirect Networkに掲載されたDataLine 2009-55から、XBRLレポートの最新情報をお読みください。

<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jp?ContentCode=AALN-7YTMTQ&SecNavCode=TMCB-4L9HAT&ContentType=Content>

■ FASBが11月のEITF会議における公開合意案を含む4つのASU案に対するコメントを募集

FASBは、発生問題専門委員会(EITF)の11月の会議における公開合意案を含む、以下の会計基準アップデート(ASU)草案を公表しました。

- 受取債権 (Topic 310): 貸付金が単一の資産として会計処理されるプールの一部である場合における貸付金の修正の影響 (Issue 09-I)
http://www.fasb.org/cs/ContentServer?c=Document_C&pagename=FASB%2FDocument_C%2FDocumentPage&cid=1176156581502
- 報酬 – 株式報酬 (Topic 718): 株式報酬の行使価格を、対象となる持分証券が取引される市場の通貨建てとすることによる影響 (Issue 09-J)
http://www.fasb.org/cs/ContentServer?c=Document_C&pagename=FASB%2FDocument_C%2FDocumentPage&cid=1176156581528
- エンターテイメント – カジノ産業 (Topic 924): ジャックポット(Jackpot)負債 (Issue 09-F)
http://www.fasb.org/cs/ContentServer?c=Document_C&pagename=FASB%2FDocument_C%2FDocumentPage&cid=1176156581475
- 保険 (Topic 944): 保険契約の取得もしくは更新に関連する費用に関する会計処理 (Issue 09-G)
http://www.fasb.org/cs/ContentServer?c=Document_C&pagename=FASB%2FDocument_C%2FDocumentPage&cid=1176156581808

4つのASU案へのコメント募集は2010年2月12日まで。

▼ 11月のEITF会議において議論されたこれらの問題およびその他の問題の概要については、CFODirect Networkに掲載されているPwCのEITF Observerをお読みください。

<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jpf?ContentCode=EDYR-7Y3ML6&SecNavCode=TMCB-4L9HAU&ContentType=Content&ContentId=1176156581502>

■ その他のFASB関連記事

FASB 会議の概要: 12月16日および17日に開催されたFASB/IASBの共同会議において、両審議会は、(1) 収益認識、(2) リース、(3) 資本の特徴を有する金融商品、(4) 概念フレームワーク: 測定、(5) 公正価値測定、(6) 金融商品: ヘッジ会計、(7) 保険契約、(8) 財務諸表の表示、(9) 非継続事業、(10) 連結、のプロジェクトに関する議論を行いました。この会議における両審議会の決定事項の概要については以下のFASBウェブサイトをご覧ください。

http://www.fasb.org/cs/ContentServer?c=FASBContent_C&pagename=FASB%2FFASBContent_C%2FActionAlertPage&cid=1176156578692

次回のFASB 公開会議: FASBは12月22日に公開会議を開催予定です。(1) 組込クレジット・デリバティブの範囲除外規定、(2) FAS 160の適用範囲の再検討、のプロジェクトに関する議論が予定されています。この会議の詳細については以下のFASBウェブサイトをご覧ください。

<http://www.fasb.org/jsp/FASB/Page/SectionPage&cid=1218220079452>

プロジェクトの更新: FASBは以下のプロジェクトの概要を更新しました。

- 金融商品の会計処理
http://www.fasb.org/cs/ContentServer?c=FASBContent_C&pagename=FASB%2FFASBContent_C%2FProjectUpdatePage&cid=1175801889654
- 公正価値の測定
http://www.fasb.org/cs/ContentServer?c=FASBContent_C&pagename=FASB%2FFASBContent_C%2FProjectUpdatePage&cid=1176156576143
- 収益の認識
http://www.fasb.org/revenue_recognition.shtml

■ SECがリスク、報酬およびコーポレート・ガバナンスに関する開示拡充を承認

SECは、公開企業のリーダーシップの評価がより容易となる、株主へ提供される情報の拡充のための規則を承認しました。この新規則は、次の年次報告および委任状シーズンから、議決権行使に関する意思決定に際して、リスク、報酬およびコーポレート・ガバナンスに関する企業の情報開示を拡充することを目的としています。

新規則では、特に、他の開示に加えて、企業の報酬ポリシーとリスク管理の実務との関係、取締役および取締役指名候補者の経歴および資格、企業の経営者・取締役・取締役指名候補者が関与する法的措置について、その他の開示と同様に委任状および情報説明書に開示することを規定しています。新規則は2010年2月28日から適用となり、株主の投票結果についてのより迅速な報告を要求しています。

▼ 新規則およびそれらに関するプレスリリースは以下のSECウェブサイトからお読みいただけます。

<http://sec.gov/news/press/2009/2009-268.htm>

■ SECが株主による取締役指名の簡易化案に関するコメント期間を再開

6月、SECは、企業の取締役会の取締役を指名する株主の権利が機能するようにするための連邦法上の委任状規則に関する一連の修正を提案しました。この規則案では、適用される州法、もしくは企業の定款・規則のいずれかによって株主が取締役候補者の指名を禁じられている場合を除き、持株要件に適合する株主は取締役選任において限定数の取締役を指名し、委任状に候補者名の記載を求める権利を有します。またこの他、規則案では企業に取締役選任に関連する株主提案を除外することを認める委任状規則の「選任除外」条項を制限しています。

この規則案の公表により SEC に多様なデータや分析結果が提出されましたが、そのほとんどがパブリック・コメント・ファイルに投稿されたのは最初のコメント期間終了日である 8 月 17 日以降でした。したがって、SEC は、関係者が追加データおよび分析結果を検討できるようにするためにコメント期間を再開しました。SEC は 2010 年 1 月 19 日までのコメント提出を求めています。

▼ 追加データおよび分析結果の閲覧およびコメントの提出については以下の SEC ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.sec.gov/rules/proposed/2009/33-9086.pdf>

■ ASBが明瞭性プロジェクトに基づく2つ監査基準書案に対するコメントを募集

AICPA の監査基準審議会(ASB)は、既存の監査基準書(SAS)に明瞭性を確保するための作成規約を適用し、SAS と国際監査基準(ISA)とのコンバージェンスを行うための継続的努力の一環として、監査報告書に関連する2つの新しい公開草案を公表しました。

- **分析的手続 (再起草)**

この SAS 案は、監査人による実証手続としての分析的手続の利用、および、財務諸表に関する監査人の全般的な結論の形成において役立つよう、監査の最終段階間近において分析手続を実施する監査人の責任を取り扱うものです。明瞭化された SAS「企業およびその環境の理解ならびに重要な虚偽記載のリスクの評価」は、リスク評価手続としての分析的手続の利用を取り扱っています。この SAS 案は SAS 56「分析手続」を差し替えることになるものです。コメント募集期間は 2010 年 5 月 3 日まで。

<http://www.aicpa.org/Professional+Resources/Accounting+and+Auditing/Audit+and+Attest+Standards/Exposure+Drafts+of+Proposed+Statements/Proposed+Statement+on+Auditing+Standards+Analytical+Procedures.htm>

- **適用可能な財務報告フレームワークの規定の適用に関する報告**

この SAS 案は、(1) 特定の取引への適用可能な財務報告フレームワークの規定の適用および (2) 特定の企業の財務諸表に関して発行される可能性のある報告書の様式、に関する書面による報告書の発行を要求された場合の、報告会計士の責任に対応するものです。また、この SAS 案は前述の状況において報告会計士によって提供される口頭のアドバイスにも適用されます。この SAS 案は SAS 50「会計原則の適用に関する報告書」を差し替えることになるものです。コメント募集期間は 2010 年 5 月 17 日まで。

<http://www.aicpa.org/Professional+Resources/Accounting+and+Auditing/Audit+and+Attest+Standards/Exposure+Drafts+of+Proposed+Statements/Proposed+Statement+on+Auditing+Standards+Reports+on+Application+of+Requirements.htm>

■ 2010年1月の予定

- FASBは1月6日、13日、27日に会議および教育セッションを開催。1月22日にも教育セッションを開催。
- FASBとIASBは1月5日にビデオ会議による共同会議を開催。また、1月18日～20日にもロンドンで共同会議を開催。
- FASBと投資家技術諮問委員会は1月12日に会議を開催。
- IASBは1月21日～22日に会議を開催。
- IASBの国際財務報告解釈指針委員会(IFRIC) は1月7日に会議を開催。
- 国際会計基準委員会(IASC)財団の理事会は1月26日～27日に会議を開催。
- AICPAの会計基準執行委員会(AcSEC)は1月12日～13日に会議を開催。
- ASBは1月11日～14日に会議を開催。
- SECは最高コンプライアンス責任者のためのCCOutreachナショナル・セミナーを1月26日に開催。

▼ 上記の会議およびその他組織の行事の詳細については、以下のウェブサイトから CFOdirect Network の行事カレンダーをご覧ください。

<http://www.cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/cfobusiness/cfoevents/nextMonth.do?currentYear=2009¤tMonth=December>

お問い合わせ:

あらた監査法人
東京都中央区銀座8丁目21番1号
住友不動産汐留浜離宮ビル (〒104-0061)
お問い合わせ: aaratapr@jp.pwc.com

© 2009 PricewaterhouseCoopers Aarata. All rights reserved. "PricewaterhouseCoopers" refers to PricewaterhouseCoopers Aarata or, as the context requires, the PricewaterhouseCoopers global network or other member firms of the network, each of which is a separate and independent legal entity.